

各 位

会 社 名 東洋シャッター株式会社  
 代表者名 取締役社長 藤田 和育  
 (コード番号5936 東・大 第1部)  
 問合せ先 常務執行役員経営企画統括部副統括部長 丸山 明雄  
 (TEL 06-4705-2125)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、当社は平成21年5月11日の決算発表時に公表した平成22年3月期第2四半期の業績予想および配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成22年3月期第2四半期業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益
前回発表予想(A)	9,300	0	△ 50	△ 80
今回修正予想(B)	7,699	△ 315	△ 367	△ 344
増減額(B - A)	△ 1,601	△ 315	△ 317	△ 264
増減率(%)	△ 17.2%	—	—	—
(ご参考) 前期実績(平成20年9月期)	10,118	371	308	248

(2) 平成22年3月期第2四半期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益
前回発表予想(A)	9,300	0	△ 50	△ 80
今回修正予想(B)	7,699	△ 317	△ 369	△ 346
増減額(B - A)	△ 1,601	△ 317	△ 319	△ 266
増減率(%)	△ 17.2%	—	—	—
(ご参考) 前期実績(平成20年9月期)	10,118	371	309	248

(3) 修正の理由

当第2四半期は、昨年の金融危機を発端とした景気の停滞にともない、企業収益の改善は引き続き厳しい状況にあり、設備投資における著しい減少傾向は継続し長期化の様相にあります。

このような状況下、当社としても中期経営計画に基づく営業諸施策の積極的取組みや生産活動の改善と効率化、一時帰休の実施等人件費を含めた諸経費の削減強化の諸施策を実施していますが、その一方で受注競争は一層激化し、なお厳しい経営環境が続くことが見込まれます。

こうした状況を受け、当初の想定を上回る受注高の減少等の影響から、売上・利益面とも前回発表予想を下回る見込となりましたので、上記のとおり修正いたします。また、連結業績予想の修正の要因は、かかる個別業績の修正に伴うものです。

なお、通期の業績予想は、下半期の業績予想を踏まえ、第2四半期決算と併せて発表する予定です。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 配当予想数値の修正

1株当たり配当金			
基準日	中間期末 (第2四半期末)	期末	年間
前回予想	8円 00銭	12円 00銭	20円 00銭
今回修正予想	0円 00銭	未定	未定
当期実績	—	—	—
前期実績 (平成21年3月期)	12円 00銭	8円 00銭	20円 00銭

### (2) 修正の理由

当社は、中長期的な企業価値の向上と株主の皆様方への利益還元のバランスの最適化を経営の最大課題と位置づけております。また、配当の実施においては、企業の経営基盤の強化を図りながら、当該決算期および今後の業績、財務状況等を勘案して総合的に判断してまいりたいと考えております。

しかしながら、本日の業績予想の修正のとおり、当第2四半期業績予想は当初予想を下回る結果となり、誠に遺憾ではございますが、当第2四半期における配当は見送りとさせていただきます。

なお、期末の配当予想につきましては現時点では未定とさせていただきますが、下半期の業績予想や財務状況等を勘案し、第2四半期決算と併せて発表する予定です。

※ 上記の予想は、本資料発表日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因により、記載の予想数値と異なる可能性があります。

以上